

学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例 A 生活の自立と衣食住

学習指導要領の内容	観点	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
(1)中学生の栄養と食事について、次の事項を指導する。 ア 生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事とのかわりについて知ること。 イ 栄養素の種類と働きを知り、中学生の時期の栄養の特徴について考えること。 ウ 食品の栄養的特質を知り、中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考えること。	評価規準 ・食事の役割や健康とのかかわりについて関心をもっている。 ・食品に含まれる栄養素について、関心をもって学習活動に取り組んでいる。 ・中学生の時期の栄養の特徴について関心を持ち、自分の食事とかかわらせて考えようとしている。 ・食品の栄養的特質について関心を持ち、献立を検討している。	中学生の栄養と食事について関心を持ち、食生活をよりよくするために、学んだことを活用しようとしている。	中学生の栄養と食事について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	中学生に必要な栄養を満たす食事の取り方に関する基礎的な技術を身に付けている。	中学生の栄養と食事に関する基礎的な知識を身に付けている。
(2)食品の選択と日常食の調理の基礎について、次の事項を指導する。 ア 食品の品質を見分け、用途に応じて適切に選択することができること。 イ 簡単な日常食の調理ができること。 ウ 食生活の安全と衛生に留意し、食品や調理器具等の適切な管理ができること。	評価規準 ・身近な食品に関心を持ち、用途に応じて適切に選択しようとしている。 ・日常食の調理に関心を持ち、調理技術を習得しようとしている。 ・食生活の安全と衛生に関心を持ち、調理実習で実践しようとしている。	食品の選択と簡単な日常食の調理について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	食品の選択と簡単な日常食の調理を工夫している。 ・材料の扱い ・切り方 ・調味 ・盛りつけ	食品を適切に選択し、安全と衛生に留意して簡単な日常食の調理ができる。 ・身近な食品の品質について調べ、用途に応じて適切に選択できる。 ・目的、栄養、価格 ・調理の能率 ・環境への影響など ・安全と衛生や作業の能率に留意して調理ができる。 ・洗う、切る、加熱する、調味するなどの基本的な調理操作ができる。 ・食品や調理器具を適切に取り扱うことができる。 ・食品の保存 ・ふきん、まな板、包丁などの調理用具の扱い ・調理用熱源	食品の選択と簡単な日常食の調理に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・身近な食品の品質を見分ける観点について理解している。 ・加工食品の表示の意味を読みとることができる。 ・食品の調理上の性質について理解している。 ・加熱調理と調味の要点について理解している。 ・食品や調理器具の安全と衛生に留意した取扱い方を理解している。
(3)衣服の選択と手入れについて、次の事項を指導する。 ア 衣服と社会生活とのかわりを考え、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できること。 イ 日常着の計画的な活用を考え、適切な選択ができること。 ウ 衣服材料に応じた日常着の適切な手入れと補修ができること。	評価規準 ・衣服と社会生活とのかわりに関心を持ち、時・場所・場合に応じた衣服を着用しようとしている。 ・日常着の計画的な活用に関心を持ち、適切に選択しようとしている。 ・衣服材料に応じた日常着の手入れや補修について、関心をもって学習活動に取り組んでいる。	衣服の着用、選択、手入れについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的な技術を身に付けている。	衣服の着用、選択、手入れに関する基礎的な知識を身に付けている。 ・既製の表示や縫製などについて調べ、適切に選択できる。 ・衣服材料や汚れの度合いに応じた手入れができる。 ・補修の目的と布地に適した方法で衣服を補修することができる。	衣服の社会生活上の機能について理解している。 ・既製の表示と選択に当たっての留意事項について理解している。 ・綿、毛、ポリエステル等の手入れにかかわる性質について理解している。 ・洗濯の方法と特徴について理解している。 ・洗剤の働き ・衣服材料に応じた洗剤の種類 ・洗剤の使用量など ・補修の目的と布地に適した方法が分かる。
(4)室内環境の整備と住まい方について、次の事項を指導する。 ア 家族が住まう空間としての住居の機能を知ること。 イ 安全で快適な室内環境の整え方を知り、よりよい住まい方の工夫ができること。	評価規準 ・安全で快適な室内環境の整備と住まい方について、関心をもって学習活動に取り組み、住生活をよりよくしようとしている。 ・家族の生活の場としての住居の機能について関心をもっている。 ・衛生的な室内の整備に関心を持ち、実践しようとしている。 ・室内の安全に関心を持ち、安全な住まい方を心がけている。	安全で快適な室内環境の整備と住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	安全で快適な室内環境の整備と住まい方の工夫に関する基礎的な技術を身に付けている。	安全で快適な室内環境の整備と住まい方の工夫に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・調査・実験・実習などを通して、安全で快適な室内環境の整備について実践できる。 ・室内の空気調節 ・通風、換気 ・騒音防止 ・室内事故の防止 ・汚れに応じた清掃	安全で快適な室内環境の整備と住まい方の工夫に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・住居の基本的な機能について理解している。 ・室内環境を整えることの必要性に気付き、安全で快適な室内環境の整備に関する具体的な方法を理解している。 ・室内の空気調節 ・通風、換気 ・騒音防止 ・室内事故の防止 ・汚れに応じた清掃 ・用具や用剤の安全で適切な取扱いについて理解している。
(5)食生活の課題と調理の応用について、次の事項を指導する。 ア 自分の食生活に関心を持ち、日常食や地域の食材を生かした調理の工夫ができること。 イ 会食について課題を持ち、計画を立てて実践できること。	評価規準 ・自分の食生活を振り返り、課題を見付けようとしている。 ・日常食や地域の食材を生かした調理の計画や実習に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。 ・会食の計画や実践に関心をもって取り組んでいる。	自分の食生活について関心を持ち、主体的に調理と会食に取り組み、よりよい食生活を実践しようとしている。	調理と会食について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	日常食や地域の食材を生かした調理と会食について計画を立てて実践できる。 ・日常食や地域の食材を生かした調理ができる。 ・会食の目的に応じ、計画を立てて実践することができる。	日常食や地域の食材を生かした調理と会食に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・(2)で取り上げなかった食品を用いた日常食や地域の食材を生かした調理に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・地域の食材について理解している。 ・会食のマナーについて理解している。
(6)簡単な衣服の製作について、次の事項を指導する。 ア 日常の衣服に関心を持ち、身体を覆う衣服の基本的な構成を知ること。 イ 簡単な衣服の製作について課題を持ち、計画を立てて製作できること。	評価規準 ・身体を覆う衣服の構成に関心をもっている。 ・簡単な衣服の製作について関心を持ち、課題を見付けようとしている。 ・簡単な衣服の製作に関心をもって取り組んでいる。	簡単な衣服の製作について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	簡単な衣服の製作について計画を立てて製作できる。 ・製作計画を立て、安全で能率よく、衣服を製作することができる。 ・採寸 ・布や材料の選択 ・型紙配置としりし付け ・裁断 ・ミシン縫い ・縫い代の始末 ・仕上げ ・用具の安全な取扱いなど	衣服の基本的な構成について理解するとともに、簡単な衣服の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・立体構成による衣服の基本的な構成について理解している。 ・簡単な衣服の製作に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・布の選択と用尺 ・型紙の活用 ・布地の扱い ・縫い代分量 ・布地に適した糸と針 ・布地や部位に応じた縫い方と縫い代の始末 ・用具の安全な取扱い	

学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例 B 家族と家庭生活

学習指導要領の内容	観点	生活や技術への 関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
(1)自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて考えさせる。	評価規準 ・自分の成長や生活と家族や家庭生活とのかかわりについて考えようとしている。	自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて、関心をもって学習活動に取り組んでいる。			自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて気付いている。
(2)幼児の発達と家族について、次の事項を指導する。 ア 幼児の観察や遊び道具の製作を通して、幼児の遊びの意義について考えること。 イ 幼児の心身の発達の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について考えること。	評価規準 ・幼児に関心をもち、幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて考えようとしている。 ・幼児に関心をもち、幼児の観察や遊び道具の製作に取り組んでいる。 ・幼児の遊びや遊び道具、遊びと発達とのかかわりについて考えようとしている。 ・幼児の発達を支える家族の役割について考えようとしている。	幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて、観察したり調査したりすることができる。	幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりについて、観察・調査や遊び道具の製作ができる。 ・観察・調査したことをまとめたり、発表したりすることができる。	幼児の遊びや幼児の発達と家族とのかかわりに関する基礎的な知識を身に付けている。 ・幼児にとっての遊びの意義について理解している。 ・幼児の心身の発達の概要を理解している。 ・身体の発育 ・運動の機能 ・言語、情緒、社会性 ・幼児の発達を支える家族の役割について理解している。 ・子どもの保護 ・情緒の安定 ・社会化 ・基本的な生活習慣の形成の重要性について理解している。
(3)家庭と家族関係について、次の事項を指導する。 ア 家庭や家族の基本的な機能を知り、家族関係をよりよくする方法を考えること。 イ 家庭生活は地域の人々に支えられていることを知る。	評価規準 ・自分の生活や事例をもとに家族の立場や役割を理解しようとしている。 ・家族の一員として自分のできることを実践しようとしている。 ・家庭生活と地域の人々とのかかわりに関心をもっている。	家庭と家族関係について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	家庭と家族関係に関する基礎的な技術を身に付けている。	・ロールプレイングなどを通して、家族関係をよりよくする方法が実践できる。 ・家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域の人々とのかかわりなどについて調べたり、発表したりすることができる。	家庭や家族の基本的な機能、家庭生活と地域の人々とのかかわりに関する基礎的な知識を身に付けている。 ・家庭や家族の基本的な機能について理解している。 ・家庭生活が地域の人々とのつながりの中で成り立っていることを理解している。
(4)家庭生活と消費について、次の事項を指導する。 ア 販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができること。 イ 自分の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活を工夫すること。	評価規準 ・自分の家庭生活や消費の在り方について振り返り、身近な販売方法の特徴や利点と問題点に関心をもっている。 ・情報を収集・整理し、物資・サービスを適切に選択、購入、活用しようとしている。 ・自分の生活と環境とのかかわりに関心をもっている。	家庭生活と消費について課題を見付け、その解決を目指して工夫している。	物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。	・具体的な物資・サービスの事例について情報を収集・整理し、適切な選択、購入及び活用ができる。	家庭生活と消費に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・中学生にかかわりの深い販売方法の利点と問題点について理解している。 ・消費者の基本的な権利と消費者保護基本法の趣旨を理解している。 ・物資の選択・購入・活用・廃棄に関する基礎的な知識を身に付けている。
(5)幼児の生活と幼児との触れ合いについて、次の事項を指導する。 ア 幼児の生活に関心をもち、課題をもって幼児の生活に役立つものをつくること。 イ 幼児の心身の発達を考え、幼児との触れ合いやかかわり方の工夫ができること。	評価規準 ・幼児の生活について関心をもち、課題を見付けようとしている。 ・幼児の生活に役立つ物の製作に関心をもって取り組み、学んだ知識と技術を活用しようとしている。 ・幼児との触れ合いに関心をもって取り組み、幼児と適切にかかわろうとしている。	幼児の生活と幼児との触れ合いについて課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	幼児の生活に役立つものの製作や幼児との触れ合いができる。	・遊び道具、簡単な衣服、間食の調理など、幼児の生活に役立つものを計画を立ててつくることができる。 ・幼稚園や保育所等で幼児と適切にかかわることができる。	幼児について理解を深めるとともに、幼児の生活に役立つものの製作や幼児のかかわり方に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・遊び道具の製作、簡単な衣服の製作、間食の調理など、幼児の生活に役立つものの製作に関する基礎的な知識を身に付けている。 ・幼児の心身の発達に応じた話しかけや接し方、遊びの工夫などについて理解している。
(6)家庭生活と地域とのかかわりについて、次の事項を指導する。 ア 地域の人々の生活に関心をもち、高齢者など地域の人々とかかわることができること。 イ 環境や資源に配慮した生活の工夫について、課題をもって実践できること。	評価規準 ・清掃活動や地域の行事など、地域の生活に関心をもち、地域の人々とかかわろうとしている。 ・環境や資源に配慮した生活の工夫について関心をもち、課題を見付けようとしている。	地域の人々の生活と環境や資源に配慮した生活について課題を見付け、その解決を目指して自分なりに工夫し創造している。	地域の人々とかかわることができるとともに、環境や資源に配慮した生活の工夫について実践できる。	・地域社会の一員として、高齢者など地域の人々とかかわることができる。 ・自分の生活を点検し環境や資源に配慮した生活の工夫について、計画を立てて実践できる。	家庭生活と地域の人々とのかかわりについて理解を深めるとともに、生活と環境や資源とのかかわりに関する基礎的な知識を身に付けている。 ・家庭生活と地域社会のかかわりについて理解し、地域社会の一員であることに気付いている。 ・生活の仕方と環境や資源とのかかわりに関する基礎的な知識を身に付けている。